

2020年 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます
皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。
また、旧年中はひとかたならぬご厚情を頂きありがとうございます。

ご承知の通り2025年（令和7年）に向けて、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

昨年は、3年ごとの介護保険制度改正に向けた改革案が厚生労働省から示されました。8つの課題の議論を続けた案として、高所得者の自己負担の上限を引き上げるほか、介護施設に入る低所得者への生活費の補助も縮小する一方、2割、3割負担の負担の対象者の見直しや軽度者の生活援助サービスを総合事業に移行するなどの6つの案は見送りとなりました。

今後、社会保障審議会 給付費分科会において令和3年度介護報酬改定に関する審議が議論がされますが、介護保険制度が安定的に持続させるには、給付と負担のバランスをどのように設計をしていくかその道筋は険しく、答えが見いだせないのが現状のようです。

また、昨今の介護などの労働集約型のサービス業などの中小企業は、少子化もあり人手不足感が強く、今後のサービスの提供に深刻な影響が出ています。

昨年の4月に始まった在留資格「特定技能」の受け入れや10月から特定事業所加算の新設等人材確保対策について取り組み始めていますが、人件費高騰にも繋がり経営を圧迫する流れが続きます。

当協議会は、引き続き事業者の相互のネットワークを活用し、研修等を通じて皆様のご意見等お聴かせいただきながら事業者間の連帯と事業の振興・発展を図り、今後の課題解決に向けて取り組む所存です。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。
本年も宜しく願い申し上げます。

兵庫県シルバーサービス事業者連絡協議会
会長 中林 弘明

